

令和 8 年度第 1 回ネウボラ会議報告書

1. はじめに

令和 8 年 7 月 8 日に開催したネウボラ会議では、「①こども・若者の相談窓口・意見反映」「②育児不安・孤立・親学への対応」「③こどもの居場所・体験・交流機会の充実」「④多様な学びと教育の充実」「⑤命の大切さ・防災・防犯」「⑥地元定着・キャリア形成支援」「⑦保育・通園・就労支援」「⑧父親の育児参加・働き方改革」の 8 テーマについて、多くの具体的なアイデアが提案されました。

アイデアを分析した結果、個別の課題は異なるものの、「つながり」「居場所」「体験」「地域との関わり」に関するものが多く見られました。

2. 主なアイデアと考察

(1)こども・若者の参画推進

▶主なアイデア

- ・子どもが参加できる会議体の設置
- ・LINE や SNS による相談
- ・相談窓口の見える化
- ・気軽に相談できる仕組み
- ・関係機関の連携強化
- ・学校アンケートの活用
- ・「あったらいいな BOX(意見提案ボックス)」の設置

▶考察



子ども・若者が気軽に意見を言う仕組みづくりだけでなく、地域づくりや課題解決に主体的に関わる機会を創出する

(2)子育て家庭の孤立防止

▶主なアイデア

- ・保護者同士の交流
- ・顔なじみが作れる環境
- ・月齢に合わせた子育てサロン
- ・SNS 相談の充実
- ・パパが参加しやすいイベント実施
- ・専門職による相談支援



▶考察

子どもや保護者が悩みや不安を一人で抱え込まないための「つながりづくり」

(3)自分に合った居場所と出会える環境づくり

▶主なアイデア

- ・図書館クラブへの参加促進
- ・異年齢との交流が多くある
- ・居場所が育成支援の場だといいい
- ・外国人の親に向けたサロン・教室
- ・コミュニティセンターの活用
- ・フリースクール強化(不登校児の居場所)
- ・おしゃべり可能な学習場所
- ・地域ごとの身近なコミュニティを増やす



▶考察

地域に存在する様々な居場所を活用し、誰もが自分に合った居場所と出会える環境を整える

(4)体験・交流・キャリア教育の充実

▶主なアイデア

- ・恵那版キッズニアイベントの開催
- ・魅力的な働く場が必要
- ・こども園での中高生お仕事体験
- ・地域の人材が学んだこと・自分の経験を生かす
- ・地元企業との交流
- ・ボランティア活動自体が居場所になる
- ・農業体験・自然体験が不足している



▶考察

地域の人や仕事との出会いを通じて、こども・若者の夢や希望を育む

(5)多様な学びを支える環境整備

▶主なアイデア

- ・調べ学習の定着
- ・スポーツ地域クラブの情報が分かるといい
- ・コミュニケーションや人との関わりなどの学びの場が必要
- ・保護者が学び機会の情報を受け取る方法があるといい
- ・校内支援センターの充実(心の教育相談員不足)
- ・恵那の仕事を知る機会が小学校からあるといい(キャリア教育)
- ・外国籍の子のための日本語教室・日本文化
- ・親も一緒に学べる事業

▶考察



個々の状況や特性に応じた学びの場を確保する